

一緒に立正大学ラグビー部を
応援しませんか?
ご興味のある方は立正大学総務課まで
ご連絡ください!

立正大学総務課

☎048-536-6010

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

後援会会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB

VOL.
16

令和元年8月発行



立正大学ラグビー部
後援会運営委員

多田一好

小さな積み重ねこそが
ラグビータウン熊谷の礎

昭和34年1月。今から約60年前になります。まだ全国高校ラグビーフットボール大会が兵庫県西宮市で開催されていた頃です。その年、埼玉、新潟、群馬の代表は熊谷商工高校。もちろん、全国大会に埼玉代表として初出場。その1回戦の相手は、名門・天理高校でした。

後半、敵陣ゴールまで15ヤードをモールド押し込み、セカンドローだった私は一瞬肩を外して足下のボールを拾い、敵陣に飛び込みました。結果は3対3。(当時トライは3点だった)このトライが埼玉県代表として全国大会初のトライでした。

偉業を盛大に祝ったことを今でも鮮明に思い出されます。以降も、森喜雄監督率いる熊工軍団は、地域はもとより「ラグビータウン熊谷」を全国に知らしめました。

熊谷商工高校、そして熊谷工業は、その後も国民体育大会や全国高校ラグビーフットボール大会に出場し続け、結果としてこの小さな積み重ねが「高校ラグビー界に熊谷工業あり」を全国に強く印象付けたのだと思います。

その後、「立正大学と熊谷市民を継ぐ」に於いて、多くの皆様と検討し、「立正大学ラグビー部後援会」を創りました。今や素晴らしい組織に成長し、大学側の理解と共に、会員の皆様のご支援に深く感謝しております。

その中でも特に思い出されるのは、現在、立正大学ラグビー部監督である堀越正己氏が熊谷工業の主将として全国大会決勝に臨んだ一戦です。結果は惜しくも準優勝。しかし、花園ラグビー場で声を枯らした大応援団、そして関係者は、その

「ご存知のように、今年には熊谷でワールドカップが開催されます。後援会是一段と力を入れて熊谷のラグビー発展のために支援していくでしょう。最後にありますが、この記念すべき年に、立正大学ラグビー部が1部に昇格されることを心より期待申し上げます。」



立正大学ラグビー部 部長

仲山佳秀

ワールドカップを契機に
一層の飛躍を!

本年4月より立正大学ラグビー部長を務めております仲山佳秀と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

立正大学ラグビー部後援会の皆様には、平素より、本学ラグビー部に対し、多大なるご支援

を賜り、厚くお礼申し上げます。これまで、本学ラグビー部は、部長と、主として女子ラグビー部を統括する副部長の二人体制でありましたが、本年度は、わたくし一人で全体を統括する体制となりました。

他方、競技の一つであるラグビーには、闘いという厳然としたエレメントが存在します。この点では、本学女子チームは、メンバーが国際大会に出場するなどして、闘いを通じた存在感を示しており、東京オリンピックに向け、今後一層の活躍が期待されます。

大学スポーツにおいては、学生たちは、当該スポーツに全身全霊を傾けるのみならず、学生の本分である勉学・学問にも意識を傾注します。スポーツと勉学は、互いに他を刺激し合う関係にあるから

これに対して、関東大学ラグビーリーグ戦における本学男子チームの位置は、満足できるものではなく、ラグビータウンである熊谷市においてラグビーワールドカップが開かれる本年を一つの契機に、女子ともども、一層の飛躍をすべく努力する所存でございます。このためにも、皆様のお力添えが是非とも必要であります。今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

野球の落合博満は、理論のないバッティングはやがて行き詰ると言いました。つまり身体運動においても、一定の高みに達しようとするれば、体系的知識(理論)または勉学が必要だということでしょう。

来年度はその悔しさを忘れず「1部奪還」を目標にチーム一丸となって全力で取り組んでいきます。春シーズンの試合では、チームの課題や強みを知る事ができ、秋シーズンに向けて日々の練習や夏合宿などで、課題の修正や強みにより磨きをかけ、チーム全員で一丸となりシーズンを戦っていききたいと思います。



立正大学ラグビー部 監督

堀越正己

日頃より立正大学ラグビー部を支えていただき心より御礼申し上げます。昨季、本学ラグビー部はリーグ戦2部5位という悔しい結果で終わりました。皆様のご期待に応えることが出来なかったことはもちろん、卒業していった4年生に対しても、申し訳ない気持ちでおります。新たな年度を迎え、今季こそ、これまでの悔しさを

そして、応援して下さる多くの方々のために、グラウンド内外で、規律正しく、主体性のあるチーム創りを実現させ、悔いの残らない日々を積み重ねていく所存です。おかげさまで、春シーズンの結果は良く、チームはこれまで順調にきていますが、過信することなく、春から1.5倍の完成度で秋のシーズンを迎えます。また、今年にはラグビーワールドカップ日本大会開催という記念すべき年でもあります。熊谷にも世界中から多くのラグビーファンがやってきます。ラグビータウン熊谷としても、2019年という年を今後に繋げる重要な年と考えています。熊谷のラグビーをリードすべき本学ラグビーにとっても、必ず1部昇格を果たし、この記念すべき年に花を添える決意です。今年も変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。



立正大学ラグビー部 男子主将

土井将聖

私たちがラグビー部は現在、関東大学リーグ2部に所属しています。昨年は5位という非常に残念で申し訳ない結果に終わってしまい、非常に悔しい思いをしました。

来年度はその悔しさを忘れず「1部奪還」を目標にチーム一丸となって全力で取り組んでいきます。春シーズンの試合では、チームの課題や強みを知る事ができ、秋シーズンに向けて日々の練習や夏合宿などで、課題の修正や強みにより磨きをかけ、チーム全員で一丸となりシーズンを戦っていききたいと思います。



立正大学ラグビー部 女子主将

古田真菜

アルカス熊谷として出場した太陽生命ウィメンズセブンズシリーズでは準優勝という結果でした。誰一人として満足のいく結果ではなかったですが、この結果をしっかりと受け止め、

来年度こそ優勝するための糧にしていきます。8月末に行われる埼玉県代表として出場する国体、そして、9月上旬に行われる立正大学ラグビー部として出場する学生交流大会の両方で優勝という結果を手に入れるよう、熊谷の夏の暑さに負けず、それ以上に熱い練習に励んでいきます。また、2020年の東京オリンピック、2021年の女子15人制ワールドカップを目指して、選手一人一人が挑戦しています。アルカス熊谷、そして立正大学から一人でも多くの選手が出場し、最高の結果を手にするために日本一の環境と日本一のスタッフを信じて日々努力し続けます。今後とも応援よろしくお願ひ致します。

平成30年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	482,165	482,165	0	
年会費	2,280,000	1,990,000	△290,000	個人会員 233件 820,000 法人会員 106件 1,170,000
総会・激励会参加費	550,000	494,000	△56,000	5/15 第1回運営委員会費 48,000 (16名×@3,000) 6/ 5 総会懇親会費 106,000 (53名×@2,000) 8/24 激励ツアー参加費 90,000 (18名×@5,000) 9/ 4 激励会費 250,000 (50名×@5,000)
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	0	△50,000	
合計	3,562,165	3,166,165	△396,000	

科目	予算額	決算額	増減	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	ラグビー部への補助
事業費	1,030,000	929,798	△100,202	5/15 第1回運営委員会 80,000・6/ 5 総会懇親会 90,400 6/ 5 ラグビーワールドカップ観戦費 100,000 6/29 大学女子ラグビー交流大会協賛金 100,000 7/13 第2回運営委員会 35,350・8/24 合宿激励ツアー 167,568 9/ 4 激励会 356,480
会報等発行費	200,000	189,432	△10,568	会報vol.15(135,432)・パンフレット(54,000)
事務費	100,000	80,872	△19,128	郵送料
会費振込手数料	25,000	21,248	△3,752	
予備費	707,165	0	△707,165	
合計	3,562,165	2,721,350	△840,815	

収入	支出	差引残高(次年度繰越金)	摘要
3,166,165	2,721,350	444,815	

令和元年度 立正大学ラグビー部後援会予算

平成31年4月1日から令和2年3月31日

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
前年度繰越金	444,815	482,165	△37,350	
年会費	2,280,000	2,280,000	0	個人会員 (830,000) 法人会員 (1,450,000)
総会・激励会参加費	550,000	550,000	0	総会:(40名×@2,000) 80,000 運営委員会:(20名+20名)×@3,000) 120,000 激励会:(45名×@5,000) 225,000 合宿激励ツアー:(25名×@5,000) 125,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	総会・激励会表賞
合計	3,524,815	3,562,165	△37,350	

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	ラグビー部への補助
事業費	1,030,000	1,030,000	0	役員会・総会・懇親会 100,000/ 運営委員会(2回) 180,000 合宿激励ツアー 200,000/ 激励会 350,000 ラグビーワールドカップ2019への支援 100,000 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援 100,000
会報等発行費	200,000	200,000	0	会報・封筒等印刷代
事務費	100,000	100,000	0	通信費・事務用品購入等
会費振込手数料	25,000	25,000	0	郵便振込
予備費	669,815	707,165	△37,350	
合計	3,524,815	3,524,815	△37,350	

平成30年度 立正大学ラグビー部後援会事業報告

1. 後援会会員数

個人会員	233件(平成29年度 231件)
法人会員	106件(平成29年度 113件)

2. 後援会各種行事

平成30年		
5月15日(火)	運営委員会開催(総会に向けて)	
6月5日(火)	役員会・総会・懇親会開催(於:立正大学熊谷キャンパス)	
7月13日(金)	運営委員会開催(合宿激励・激励会に向けて)	
8月24日(金)	合宿激励ツアー開催(於:菅平高原)	
8月30日(木)	会員証・会報発行	
9月4日(火)	激励会開催(於:八木橋百貨店)	
9月16日(日)	公式戦応援(対国土館大学)	○41 - 12
9月23日(日)	公式戦応援(対朝鮮大学校)	○88 - 12
10月7日(日)	公式戦応援(対山梨学院大学)	△49 - 49
10月14日(日)	公式戦応援(対白鷗大学)	○54 - 12
10月28日(日)	公式戦応援(対東洋大学)	●27 - 31
11月4日(日)	公式戦応援(対國學院大学)	●14 - 17
11月18日(日)	公式戦応援(対関東学院大学)	●54 - 68

平成31年

3月21日(木)	ラグビー部納会
----------	---------

令和元年度 立正大学ラグビー部後援会事業計画

- ラグビー部への補助
- リーグ戦等試合の応援
- 合宿激励ツアー・激励会の開催
合宿激励ツアー 8月22日(木) 於 菅平高原
激励会 9月3日(火) 於 八木橋
- 地域におけるラグビーの普及推進
- ラグビーワールドカップ2019への支援
- 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援
- 後援会会報の発行
- 新規会員の増強
- その他

春季オープン戦結果

秋本番に期待大!
オープン戦をAチーム全勝で終了!



令和元年度 関東大学リーグ戦セブンス大会

日程	勝敗	スコア	対戦相手
4/21	●	立正大学 19 - 21	中央大学【1回戦】
	○	立正大学 24 - 22	東洋大学【2回戦】
	○	立正大学 27 - 5	法政大学【準決勝】
	○	立正大学 21 - 14	関東学院大学【決勝】

【結果】コンソレーション優勝

オープン戦

日程	グレード	勝敗	スコア	対戦相手
5/1	C	○	74 - 19	駿河台大学A
	D	○	89 - 0	駿河台大学B
5/12	A	○	62 - 19	日本体育大学A
	B	●	29 - 51	日本体育大学B
5/18	1年	●	14 - 71	日本体育大学1年
	D	○	40 - 0	獨協大学A
5/19	A	○	86 - 0	明治学院大学A
	B	○	74 - 12	明治学院大学B
5/25	ODE(3R)	●	34 - 59	東洋大学A
	A	○	82 - 10	國學院大学A
5/26	B	○	79 - 12	國學院大学B
	D	●	7 - 45	駿河台大学AB
6/1	A	○	43 - 33	東海大学B
	B	●	17 - 41	東海大学C
6/2	C	●	29 - 38	東海大学D
	D	○	48 - 19	JR東日本
6/9	D	○	44 - 10	首都大学A
	B	○	38 - 12	白鷗大学A
6/15	C	○	19 - 10	山梨学院大学C
	D	●	15 - 19	山梨学院大学D
6/16	A	○	87 - 17	山梨学院大学B
	B	○	63 - 22	山梨学院大学A
6/22	C	○	40 - 31	拓殖大学C
	D	○	43 - 26	拓殖大学D
6/23	A	○	34 - 19	拓殖大学A
	B	○	36 - 22	拓殖大学B
6/29	B	○	40 - 15	朝鮮大学校

令和元年度新入部員

今年も36名の精鋭が、立正大学ラグビー部の門を叩きました。応援、宜しくお願いいたします!

ポジション	名前	出身校
男子		
PR	北田 直輝	札幌山の手
	金子 元紀	川口
	堰見 悠吾	熊谷工業
	田中 卓也	東福岡
PR/HO	寺井 勇人	大東文化第一
	熊田 耕大	日本大学東北
	陣内 源斗	尾道
HO	古藤 大地	佐野日本大学
	根岸 俊介	熊谷工業
LO	安部 宏亮	仙台工業
	澤村 直希	つくば秀英
FL	糸魚川 宗也	保善
	田中 瑛士	筑紫
女子		
FL	風間 湧斗	熊谷工業
	園松 建佑	深谷
NO8	ラヴガッパ/パワ	ジョウカスレー
	小柏 駿	東京農業大学第二
NO8/LO	田代 拓海	八戸西
SH	中森 隆太	東福岡
SO	村橋 洸都	松山聖陵
SO/CBT	小熊 丞	北越
	藤田 健太	朝明
SO/WBT	小川 涼太郎	新潟工業
SO/FB	吉永 峻	九州学院
	大芦 征矢	茗溪学園
CTB	酒井 大河	仙台育英
男子		
WTB	小川 耕三朗	正智深谷
	湯浅 峻貴	高鍋
WTB/FB	手東 勇陽	黒沢尻工業
	大月 淳史	新潟工業
女子		
PR	高橋 美紀	正智深谷
PR/NO8	藤 殊華	追手門学院
SO/PR	西村 蒼空	追手門学院
SH	松井 溪南	深谷
CTB	大谷 芽生	石見智翠館
WTB	杉本 七海	石見智翠館

令和元年度関東大学リーグ戦 2部 公式戦日程

今年は全ての試合が、大学のグラウンドで行われます。立正大学でも2試合行われます。一人でも多くの方々グラウンドへお越しいただけるよう選手一同心よりお待ちしております。

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月15日(日)	12:00	山梨学院大学	立正大学G
9月22日(日)	11:00	國學院大学	国土館大学G
10月5日(土)	13:00	東洋大学	東洋大学G
10月13日(日)	15:00	関東学院大学	関東学院大学G
10月27日(日)	13:00	朝鮮大学校	拓殖大学G
11月3日(日)	14:00	国土館大学	立正大学G
11月17日(日)	14:00	白鷗大学	拓殖大学G

令和元年度

ジュニア選手権 カテゴリー-3公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月8日(日)	13:00	関東学院大学	関東学院大学G
10月6日(日)	13:00	大東文化大学	立正大学G
10月20日(日)	13:00	中央大学	立正大学G
10月26日(土)	12:00	青山学院大学	青山学院大学G

※キックオフの時間は変更になる可能性があります

関東リーグ戦セブンスコンソレーション優勝

4月21日(日)に国土館大学で行われた関東リーグ戦セブンス大会では、初戦で中央大学に敗れたものの、東洋大学、法政大学、関東学院大学に勝利し、コンソレーションで優勝を果たしました。1日に4試合行うハードスケジュールの中、ハイレアウトカ・ウサ(3年・社福)、五十嵐拓星(2年・地理)はフル出場を果たし、大活躍しました。リーグ戦でもぶつかる相手である、東洋大学、関東学院大学に勝利できたことは大きな自信となりました。



春シーズン全勝にて終了 昨年度1部リーグ6位の拓殖大学にも勝利

今年の春シーズンは、Aチームが全ゲーム勝利を果たしました。中でも、6月23日(日)に行われた関東大学リーグ1部に所属している拓殖大学に34対19と快勝し、昨年度敗北を喫した國學院大学には、82対10と圧勝。昨年度引き分けに終わった山梨学院大学にも87対17で勝利しました。菅平合宿でも、1部所属の中央大学や大学選手権常連チームの朝日大学との試合も組まれており、更なるチャレンジをして、チーム力アップに努めます。



国内サーキット大会で年間準優勝

国内女子ラグビー最高峰の大会である「太陽生命ウイメンズシリーズ」が6月末に終了しました。本シリーズは国内4地区を転戦して開催される大会で、各大会の順位によって与えられるポイントの合計で年間チャンピオンを争います。結果は準優勝。6ポイント差で目標としていた優勝を掴むことができませんでした。小さなポイント差かもしれませんが、この差が大きな差であると感じられた大会でありました。来年度も年間チャンピオンを目指し日々努力を積み重ねていきます。また以下の学生およびOGが日本代表、日本代表候補として東京五輪・ワールドカップ出場を目指し日々鍛錬しています。

- 7人制日本代表候補
バティヴァカロ・ライチル海通【地球環境学部4年】
長田 いろは【社会福祉学部3年】
黒木 理帆【社会福祉学部3年】
大黒田 裕芽【本学OG】
- 15人制日本代表候補
古田 真葉【社会福祉学部4年】
阿部 恵【社会福祉学部3年】
鈴木 彩香【本学OG】